

フラワーカップ

フラワーC は、芝 1600m 以下でスピードを発揮してきたスピード血統馬は減速しやすいレース。

日曜の同コース重賞もノーザンダンサー系が 1、2 着。
特に勝ち馬は主流の直線スピード血統とは真逆の方向性。

本命はモカフラワー。

父は非サンデー系でロベルト系のスクリーンヒーロー。
同じ非根幹距離の中山重賞で G1 の有馬記念を優勝。

兄は非根幹距離重賞のセントライト記念を勝ったアサマノイタズラ。

母父ノーザンダンサー系は日曜の重賞からも当レース傾向からも強調材料。

近 2 走は根幹距離の直線が長いコースで、
他の馬がスピードを活かせる馬場。

今回は直線が短い非根幹距離で、スピード削がれる馬場。

減速幅の小ささと持久力を存分に発揮できるでしょう。

相手はパーソナルハイ。

芝 1800m 以上で勝っているディーブ産駒は
毎年連対(エンスージアム、コントラチェック、カンタービレ)。

意外と人気もないので、相手筆頭にします。

タイムは先週と同コースで重賞含め人気薄の
勝ち馬を複数出したオルフェーヴル産駒。血統の適性は高いです。